

事務事業名		佐野市渡良瀬川にサケを放す会支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当組織	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	3	環境にやさしいまちづくり				担当係	環境政策係	担当課長名	川俣 浩	
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2	自然環境の保全と再生				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	7752	一般	4	1	5	佐野市渡良瀬川にサケを放す会支援事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	S62年度～ 年度		根拠法令 条例等	任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
							事業分類		支援事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)					
佐野市渡良瀬川にサケを放す会に補助金を交付し、佐野市渡良瀬川にサケを放す会が行うサケの稚魚の一斉放流活動を支援している。 ・佐野市渡良瀬川にサケを放す会とは、渡良瀬川の浄化を目指すとともに、サケを育て観察し触れ合うことを通し、生き物を育てる心を養い、自然を愛し、親しみ、守ることの意識の向上を図ることを目的として設立した団体。		佐野市渡良瀬川にサケを放す会の活動を支援する。 (田中正造の顕彰と環境保護・生命尊重の啓蒙、サケを放す会関東5川連合としての交流と連携・共同、サケの発眼卵・稚魚の無料配布、、久慈川漁協(茨城県)との交流、3月に一斉放流等)					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
補助金の交付回数		回	1	1	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

佐野市渡良瀬川にサケを放す会		対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
		団体数		団体	1	1	1	1	1

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的 会の活動を通して、自然保護活動と環境学習を推進する。		成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		サケの稚魚放流会の開催数		回	1	1	1	1	1
		サケの稚魚放流数		匹	20,500	15,000	25,000	25,000	25,000

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

豊かな自然環境が保全、再生されている。		上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
		市内の自然環境が良好に保たれているとと思っている市民の割合		%	63.2	64.7	65.2	66.7	87.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	28	28	28	28	28			
	事業費計(A)	千円	28	28	28	28	28			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			19負担金、補助及び交付金		19負担金、補助及び交付金		19負担金、補助及び交付金		19負担金、補助及び交付金	
			002補助金	28	002補助金	28	002補助金	28	002補助金	28
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2			
	のべ業務時間	時間	20	20	20	20	20			
	人件費計(B)	千円	78	79	78	77	77			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	106	107	106	105	105			

事務事業名	佐野市渡良瀬川にサケを放す会支援事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境政策係
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和57年2月に「佐野市渡良瀬川にサケを放す会」が設立され、昭和62年から開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	サケの遡上が確認され、新聞等で報道された。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	団体からは、えさ代などの費用がかかり、赤字となることもあるため、補助を継続してほしいとの要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 団体を支援することで、自然環境の保全と再生につながり、またサケの飼育、放流、遡上観察は環境学習の機会となり、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 自然保護活動の推進と環境学習の充実を図るための事業であり、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 サケの稚魚の放流を通じて、自然保護活動と環境学習を支援することは妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 団体を支援する事業であり、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 必要最小限の事業費と人件費で実施している。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 受益者を特定できる事業ではないため、負担を求める必要がない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	自然孵化したサケが回帰するようになり、団体の目的を達成することができれば、廃止することができる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		コスト	
		削減 維持 増加	
		向上	
		維持	○ ×
		低下	× ×